

## 2部降格からわずか3年、強豪・筑波大復活す！

後期リーグに入ってから、一度も首位の座を譲らずに第21節を迎えた筑波大学だったが、最終節を残しての優勝は「まさか」の展開。勝点1差で追う、2位・順天堂大学が勝星を落とすとは、誰も予想していなかった。主将のFW北川柊斗(4年)は「自分が交代で出るとき、順大が2-2だったのは知っていた。でも順大はこれまで何度も逆転勝ちしてきたし、今回も勝つと思っていた」と語る。

そんな筑波大にとって、第21節の流通経済大学戦は、順大との直接対決の前に必ず勝っておかなければならない試合だった。同じ県内の大学と対戦する“茨城ダービー”であることに加え、前期で筑波大が唯一黒星を喫したのがこの流経大。「計算できる相手ではない。前期の試合もワンブレイクからやられて1-3で負けた。まずは目の前の試合に集中するしかなかった」と小井土正亮監督は振り返る。立ち上がりは五分五分の展開。筑波大、流経大ともに両サイドから仕掛ける中、35分にMF渡邊陽(1年)からのボールにFW

中野誠也(4年)が反応。マークを振り切ってゴールに流し込み、筑波大が先制する。さらに後半早々の52分にもFW中野が追加点を挙げて2-0に。「スコアほど内容の差はなかった」(中野)というが、「チームに中野誠也がいるかないか、決定力の差が出た」(流経大・中野雄二監督)。リードを広げられた流経大は次第に押し込まれる形に。74分にはMF渡邊とMF三宮薫(2年)が得意のパスワークで抜け出すと、最後はMF戸嶋祥郎(4年)が決めて、筑波大がダメ押しの3点目。終わってみれば3-0と筑波大が完勝。同日同時開催の試合で順大が東洋大学と引き分け、勝点差が4と開いたため、最終節を待たずして1部優勝を確定させた。

小井土監督は1部優勝の要因を「選手たちのおかげ。ひとりひとりが成長することでチームが強くなっていった」とコメント。昨年はインカレで優勝したが3年前には2部に降格し、現主力選手のほとんどが2部でもプレー。「降格から昇格、優勝、すべてを経験してきた」(中野)という選手たちが、過酷な経験を1部優勝という結果に結びつけた。

### TODAY'S MATCH

## 筑波大学 VS 順天堂大学

11月19日(日)13:00  
 味フィ西

30 阿部	筑波大	中野誠也(筑波大・FW・4年)
3 小笠原 5 鈴木(大)	7 野口	優勝が決まったから良いというものではないので、次の試合こそ大切な試合です。絶対勝ちます。
14 会津 27 渡邊 6 鈴木(徳)	8 戸嶋	<b>旗手怜央(順大・FW・2年)</b>
25 西澤 11 中野	9 三宮	優勝を賭けた試合ではないですが、インカレに向けて第一歩となる試合です。筑波大は大学NO.1といわれているチーム。その相手に勝って、インカレへの準備としていきたいです。
10 米田 11 旗手 13 浮田	14 杉田	出場停止：なし
7 名古 6 石上	2 柳澤	警告3回：鈴木徳真(筑波大)、高嶺明樹(筑波大)、坂圭祐(順大)
3 原田 4 坂 15 村松		
順大	1 佐藤	

布陣は前節のメンバーを参考にした予想です。

## 筑波大、13年ぶり15度目の関東王者に！

### ～選手優勝コメント～

#### 【北川柊斗(4年・FW・主将)】

正直、今日は順大が勝つと思っていたので、まだ優勝の実感はありません。この試合だけではなく、チーム全員が1試合1試合、隙なく準備してきたことが優勝につながったのかな、と思います。最後の試合に勝つことが大事なので、そこで勝つからみんなて喜びたいと思います。今季、自分としては試合に出られない悔しさもありましたが、試合に出た時にいかにチームのために結果を残すか、ということを考えて、人間的にも自分を見つめ直すいいきっかけになりました。

#### 【中野誠也(4年・FW)】

最終節で勝って優勝というほうが盛り上がりとは思いますが、けれどチームとしては優勝だけを目標してきたので、今日決めたいという気持ちもありました。優勝できて本当によかったと思います。この優勝で1年間、チームとしてやってきたこと、そして自分としては筑波大で4年間をとおしてやってきたことが間違っていなかったと感じられました。1点目は、(渡邊)陽がいいボールをくれて、あとは今津(佑太・流経大DF)との1対1だったので、相手より早く触ってやろうという気持ちだけで動きました。結果的に前にこぼれたのではと冷静に流し込むだけ。2点目は陽がいいボールをくれて、あのスペースは、陽だけが見えていたのではないかと思います。今日はすべて彼のパスで決まりました。

#### 【戸嶋祥郎(4年・MF)】

個人的なターニングポイントは前期の順大戦です。最後に自分のミスで順大に追いつかれてしまったので、この借りは自分で返そうと思いながら、その後の試合をやってきました。筑波大での4年間では、すべてのことを学びました。すばらしい先輩、仲間たちと4年間学び、プレーをして自分の力を引き上げてもらったと思っています。

#### 【野口航(4年・DF)】

この試合に勝てたのは本当によかったと思いますが、まだ1試合残っています。2位の順大に勝ち切ったこそ、優勝の価値が出ると思います。最終節まで、しっかり切り替えて準備したいです。

#### 【鈴木徳真(3年・MF)】

応援してくださった方への感謝の気持ちを忘れずに、リーグの残り1試合とインカレに向けていい準備をしたいです。今季は怪我也有りましたが、怪我が教えてくれたこともありました。チームがひとつになることや、自分の体に目を向けること……。

そういう意味では、自分にとって価値のある怪我だったと思っています。

#### 【会津雄生(3年・MF)】

リーグ戦の優勝は、1年間をとおして強いチームだということだと思っていて、優勝したことで強い筑波大を見せられたと思っています。個人的には去年よりもプレーに余裕ができて、相手と対戦していても自分のプレーができてと感じられました。インカレに優勝し、天皇杯なども経験したことが、自分の自信につながったのかもかもしれません。

#### 【西澤健太(3年・MF)】

自分たちにとって流経大は特別な相手ですし、この試合に勝つということだけを考えて試合に臨みました。リーグ戦の残りは順大戦だけですが、前期は勝てず、「アミノバイタル®」カップでも負けている相手です。ここで勝たないと本当の関東王者とはいえません。まずは順大を倒してから、インカレのことを考えたいと思います。

#### 【阿部航斗(2年・GK)】

順大が勝つと思っていたので、試合終了後に優勝といわれてもあまり実感がわきませんでした。ただ流経大に勝つために90分間戦ってきたことが、優勝につながってよかったと思います。前期はなかなか試合に出られないこともありましたが、自分が出るようになって失点が少ない状態を続けられてよかったです。

#### 【三宮薫(2年・MF)】

リーグ戦の優勝は年間を通してのチームの強さの表れだと思うので本当にうれしいです。ただ、個人的には今もスタメンは確保できていないと思っていますし、実力もまだまだ伴っていないと感じています。結果を残している(順大の旗手)怜央のように、自分ももっと結果にこだわっていかないといけない。注目されてマークが厳しくなる中でどれだけできるか、そこで常に相手より上回れるようにがんばりたいと思います。

#### 【渡邊陽(1年・MF)】

優勝の実感はないです。今日得点に絡んだのはたまたま。みんなが決めてくれたからだと思います。前期の最初のころはなかなかフィットできずに苦しみました。試合に出ることに慣れてくると、今度は周りから求められるものが増えてくる。最低限のことをやるのではなくプラスアルファができるか、ということも求められていましたが、今日アシストという結果を残せてよかったと思います。

